

東北地方で大きな地震が発生し、福島第一原子力発電所が事故を起こしたのは、入社1年目の3月。当時、私は柏崎刈羽原子力発電所の運転員として研修中で、当日は、宿直明けのため自宅にいました。突然の大きな揺れに、みんな無事か、発電所は大丈夫か、という不安がよぎりました。そして、テレビに映し出された地震や津波の映像を見て、あまりの破壊力に恐怖を感じました。被災した人たちが一人でも多く無事でいて欲しい、福島第一はどうなってしまうんだろうと、いろいろな気持ちが入り交じり、胸が張り裂けそうになったことを鮮明に覚えています。

シリーズ 「私たちの思い」

倉部 和弘

柏崎刈羽原子力発電所
第一保全部タービン(2・3号)グループ
平成22年入社 新潟県柏崎市出身

私は柏崎で生まれ、小中高と野球部に所属し、チームの仲間たちと練習に明け暮れる日々を過ごしてきました。そんなたくさんの思い出が詰まった地元、柏崎で働きたいと思ったのが、就職先に東京電力を志望したきっかけです。

福島第一の事故後、柏崎刈羽原子力発電所では、設備の新設や増強と、その操作訓練が始まりました。今、私は発電所の設備を保守点検する業務に携わりながら、事故への対応訓練を日々行っています。

**この地を、守っていききたい。
常に改善を重ね、発電所の安全性を高める。**

まずは事故を起こさないために備える。それでも事故が起きてしまったときには、拡大を防ぎ被害を最小限に抑える。訓練のたびに改善点を見つけ出し、対策する。そして、さらに訓練を重ねる。もともと高い安全レベルを目指しているという思いで、発電所にいる全員が一致団結しているのを日々実感しています。

『発電所で働く自分たちは、この大好きな柏崎を守ることができる』と私は信じています。家族や友達にも「あいつがいる発電所なら大丈夫」と思ってもらえるように、絶対に妥協しないで何事にも真剣に取り組んでいきます。

平成28年3月撮影

昨日より今日、今日より明日。私たちは、より高い安全レベルを目指し挑戦を続けます。

シリーズ「私たちの思い」は、ホームページでもご覧いただけます。

TEPCO 新潟本社  <http://www.tepcoco.jp/niigata/index-j.html>



東京電力ホールディングス 新潟本社

025-283-7461

9:00~17:00 (土日・祝日・年末年始除く)

TEPCO